



用字、用字	用字

- |                         |  |  |
|-------------------------|--|--|
|                         |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全にAIを活用するための注意点や基本操作を学ぶ。</li> </ul>    |
|                         |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーはオンライン配信形式で行われ、アカバも利用可能。</li> </ul> |
| セミナーの形式と進行方法 (00:01:50) | <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間程度のセッションで、基礎から応用までをカバー。</li> <li>質疑応答や実演を交えながら進行。</li> </ul>                               |  |
|                         |  | 講師の自己紹介、パソコンとインターネットの基本、チャットGPTのモデルの違いを解説。                                     |
| 本日の内容とゴール (00:02:51)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>最終的なゴールは、チャットGPTを使って簡単な質問ができるようになること。</li> <li>ハルシネーション（誤情報）のリスクを理解し、安全に利用する方法を学ぶ。</li> </ul> |  |
|                         |  | 講師は有限会社Aの代表であり、AI活用やエンジニアリングの経験を持つ。  |
| 講師の背景と専門分野 (00:03:34)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実家が葬儀業を営んでおり、死に改革やデジタル仏壇の開発に関わる。</li> </ul>   |  |

## 講師の自己紹介 (00:03:27) ㊦

- |                                |   |                                      |
|--------------------------------|---|--------------------------------------|
| <p>過去のプロジェクトと経緯 (00:04:46)</p> | <p>ディープフェイク技術を活用したデジタルの開採。</p> <p>AIを活用した仏教関連プロジェクトや、値の高いAIモเดลの研究。</p> <p>5年前からAI技術に関わり、最新の技術を追いかけている。</p> | <p>水戸ドットエスエフ出身で、AI関連の企業関係としても活動。</p> |
| <p>セミナー開催の動機 (00:05:50)</p>    | <p>初心者がAIを安全に使えるようになるための知識提供が必要と感じた。</p> <p>AIの理解を深めリスクをなくし、理解し、日常生活</p>                                    |                                      |

- ```

graph TD
    Root[ ] --- B1[スマホとパソコンの違い (00:07:31)]
    Root --- B2[ブラウザの基本と種類 (00:09:19)]
    Root --- B3[インターネットの仕組みとドメイン (00:11:05)]
    
    B1 --- C1[スマホの普及により、パソコンの基本操作を知らない人が増えている。]
    B1 --- C2[スマホは便利だが、ブラウザやキーボード操作の基本を理解することが重要。]
    
    B2 --- C3[ブラウザとは、インターネットを閲覧するためのアプリケーション。]
    B2 --- C4[主なブラウザにはChrome、Safari、Microsoft Edgeがある。]
    
    B3 --- C5[ブラウザの基本操作を理解することで、AIツールの利用が容易になる。]
    B3 --- C6[インターネットは、コンピュータ同士が網の目のように接続されたシステム。]
    B3 --- C7[ドメイン名 (例: yahoo.co.jp) は、IPアドレス人間が理解しやすい形に変えたもの。]
    B3 --- C8[検索エンジンを活用して正確な情報を得る方法を学ぶ。]
  
```

スマホとパソコンの違い (00:07:31) は

  - スマホの普及により、パソコンの基本操作を知らない人が増えている。
  - スマホは便利だが、ブラウザやキーボード操作の基本を理解することが重要。

ブラウザの基本と種類 (00:09:19) は

  - ブラウザとは、インターネットを閲覧するためのアプリケーション。
  - 主なブラウザにはChrome、Safari、Microsoft Edgeがある。

インターネットの仕組みとドメイン (00:11:05) は

  - ブラウザの基本操作を理解することで、AIツールの利用が容易になる。
  - インターネットは、コンピュータ同士が網の目のように接続されたシステム。
  - ドメイン名 (例: yahoo.co.jp) は、IPアドレス人間が理解しやすい形に変えたもの。
  - 検索エンジンを活用して正確な情報を得る方法を学ぶ。

- ChatGPTと(00:14:29) ⇨

  - チャットGPTは、OpenAI社が開発したAIチャットサービス。
  - テキスト生成や質問応答、画像生成（DALL-E）などの機能を持つ。
  - 無料版と有料版があり、有料版ではより高度な機能が利用可能。

ChatGPTと(00:14:29) ⇨

  - メモ作成、料理レシピの検索、文書作成、翻訳など多岐にわたる用途。
  - ハルシネーション（誤情報）のリスクがあるため、情報の信頼性を確認する必要がある。
  - 安全に利用するための基本的なルールを守る。

ChatGPTの登録と利用方法(00:16:13) ⇨

  - OpenAIの公式サイト（[chat.openai.com](https://chat.openai.com)）で無料登録が可能。
  - GoogleやAppleのアカウントを使って簡単にログインできる。
  - 無料版は機能が制限されているが、基本的な用途には十分。

- モデルが存在。
- モデルの種類と特徴 (00:27:24)
  - O3モデルは高性能で、専門的なタスクに適している。
  - 無料版ではGPT-4 Miniが利用可能。
- モデルの選び方 (00:32:05)
  - O3モデルは高級SUVに例えられる高性能モデル。
  - Miniモデルは軽トラックのような軽量で実用的なモデル。
  - 利用目的に応じて適切なモデルを選択することが重要。
- 有料版の利点 (00:33:45)
  - 有料版では、より高速で正確な応答が得られる。
  - 月額20ドルで、100回までの高性能モデル利用が可能。
  - 無料版と比べて、画像生成や高度な検索機能が充実。
- キャンパスは、作業スペースを整理し統合するための新機能。
- ドキュメントとメディアを同時に管理

## 新機能: キャンパスとプロジェクト

- 部分的な編集や詳細の追加が容易。
- プロジェクトは、フォルダのようにデータを整理するための機能。
- プロジェクト機能の活用 (00:43:41) は、会話履歴や作業内容をグループ化して管理できる。
- プロジェクトを削除するとデータも消えるため、注意が必要。
- 作業の効率化とデータ管理が容易になる。
- フォルダ機能を活用することで、複数のタスクを整理可能。
- 初心者でも直感的に利用できる設計。
- Google Geminiは高速で長文対応が可能なAIツール。
- Claudeは論理的に優れた設計で、深い読解力を持つ。
- Google GeminiとClaude (00:47:14) は、

他のAIツールとの比較 (00:47:07)

- 
- ```

graph LR
    Root[ ] --- Note[それぞれの特徴を理解し、用途に応じて使い分ける。]
    Root --- B1[パープレクシティとジェンスパーク 00:48:09]
    Root --- B2[Microsoft Copilotの特徴 00:49:05]
    
    B1 --- B1_1[パープレクシティは、ソフトバンクユーザー向けに1年間無料で提供。]
    B1 --- B1_2[ジェンスパークは、スライド作成やAIチャットに特化したツール。]
    B1 --- B1_3[高度な検索機能や文書作成能力を持つ。]
    
    B2 --- B2_1[Copilotは、Web版で画像生成やドキュメント作成が可能。]
    B2 --- B2_2[チャットGPTよりも高速に画像を生成できる。]
    B2 --- B2_3[無料で利用可能。初心者にもおすすめ。]
  
```
- それぞれの特徴を理解し、用途に応じて使い分ける。
- パープレクシティとジェンスパーク (00:48:09) 〻
- パープレクシティは、ソフトバンクユーザー向けに1年間無料で提供。
  - ジェンスパークは、スライド作成やAIチャットに特化したツール。
  - 高度な検索機能や文書作成能力を持つ。
- Microsoft Copilotの特徴 (00:49:05) 〻
- Copilotは、Web版で画像生成やドキュメント作成が可能。
  - チャットGPTよりも高速に画像を生成できる。
  - 無料で利用可能。初心者にもおすすめ。

- 
- セミナーの振り返り (00:56:06) 〆 AI活用の基本から応用まで  
チャット GPT の登録方法 なんだ。  
キャンパスとプロジェクト 解。
- 今後の活用方法 (00:58:03) 〆 AIツールを日常生活や業務に 模索。  
他の AI ツール と の 比較 を 通 じ て 選 択。
- 最後のメッセージ (00:59:00) 〆 安全に AI を 活 用 す る た め の 知 見。  
AI は 日 々 進 化 し て お り、 初

- ```

graph TD
    A[2020年から2024年の調査内容 01:00:02] --> B[報告書の具体的な内容や目的 01:00:17]
    A --> C[調査結果の整理と分析手法 01:00:41]
    B --> D[調査結果を基に、葬儀業界の改善点を明確にすることが目的。]
    B --> E[トラブルの原因や頻度、影響範囲について詳細に分析。]
    C --> F[葬界全体の透明性向上と顧客満足度の向上を◆◆指している。]
    C --> G[報告書の内容は、業界内外での議論の基礎資料として活用されている。]
    C --> H[調査結果は観測データとして整理され、分析が進められた。]
    C --> I[データの可視化やマインドマップを活用して、問題点を明確化。]
    C --> J[観測データを基にした具体的な改善提案が含まれている。]
    C --> K[報告書の◆◆◆は、業界関係者向けにプレゼンテーション形式で共有された。]
    L[マインドマップの活用 01:01:24] --> M[マインドマップ作成アプリ「マビファイ」が使用された。]
    L --> N[複雑な情報を視覚的に整理し、理解を深めるためのツールとして活用。]
  
```

2020年から2024年の調査内容 (01:00:02)

  - 報告書が作成された。
  - 調査期間は2020年から2024年の5年間にわたる。
  - 葬儀業界の現状や課題を明らかにするためのデータ収集が行われた。
  - 報告書の一部は公開されており、業界関係者にとって重要な資料となっている。

報告書の具体的な内容や目的 (01:00:17)

  - 調査結果を基に、葬儀業界の改善点を明確にすることが目的。
  - トラブルの原因や頻度、影響範囲について詳細に分析。
  - 業界全体の透明性向上と顧客満足度の向上を◆◆指している。
  - 報告書の内容は、業界内外での議論の基礎資料として活用されている。

調査結果の整理と分析手法 (01:00:41)

  - 調査結果は観測データとして整理され、分析が進められた。
  - データの可視化やマインドマップを活用して、問題点を明確化。
  - 観測データを基にした具体的な改善提案が含まれている。
  - 報告書の◆◆◆は、業界関係者向けにプレゼンテーション形式で共有された。

マインドマップの活用 (01:01:24)

  - マインドマップ作成アプリ「マビファイ」が使用された。
  - 複雑な情報を視覚的に整理し、理解を深めるためのツールとして活用。

- 
- ```

graph LR
    A[デジタルトランスフォーメーションの推進] --> B[時代遅れの業界慣習 01:01:54]
    A --> C[デジタルツールの導入状況 01:02:20]
    A --> D[IT企業との競争 01:02:55]
    A --> E[アナログとデジタルの利便性比較 01:03:02]
    B --> B1[葬儀業界は依然としてアナログな手法が主流。]
    B --> B2[ファックスや手書きの書類が未だに必要とされる場面が多い。]
    B --> B3[デジタル化が進んでいないため、業務効率が低下している。]
    B --> B4[伝統的な慣習が根強く、変化への抵抗が見られる。]
    C --> C1[一部ではLINEやPDFなどのデジタルツールが活用されている。]
    C --> C2[画像ファイルの送受信は可能だが、WordやExcelの利用は限定的。]
    C --> C3[デジタル化の進展が遅れているため、他業界との差が広がっている。]
    C --> C4[デジタルツールの活用が進めば、業務効率が大幅に向上する可能性がある。]
    D --> D1[小規模な葬儀会社がIT企業に押される状況が増加。]
    D --> D2[AIやデジタル技術を活用する企業が市場で優位に立っている。]
    D --> D3[IT技術を取り入れられない企業は、競争力を失うリスクが高い。]
    D --> D4[業界全体でのデジタル化推進が急務となっている。]
    E --> E1[アナログ手法が便利とされる場面もあるが、全体的には非効率。]
    E --> E2[デジタル化により、情報共有や業務処理が迅速化する。]
    E --> E3[アナログとデジタルの利便性を比較し、最適な手法を選択する必要がある。]
    E --> E4[デジタル化のメリットを業界全体で共有すること。]
  
```
- デジタルトランスフォーメーションの推進**
- 時代遅れの業界慣習 (01:01:54)**
    - 葬儀業界は依然としてアナログな手法が主流。
    - ファックスや手書きの書類が未だに必要とされる場面が多い。
    - デジタル化が進んでいないため、業務効率が低下している。
    - 伝統的な慣習が根強く、変化への抵抗が見られる。
  - デジタルツールの導入状況 (01:02:20)**
    - 一部ではLINEやPDFなどのデジタルツールが活用されている。
    - 画像ファイルの送受信は可能だが、WordやExcelの利用は限定的。
    - デジタル化の進展が遅れているため、他業界との差が広がっている。
    - デジタルツールの活用が進めば、業務効率が大幅に向上する可能性がある。
  - IT企業との競争 (01:02:55)**
    - 小規模な葬儀会社がIT企業に押される状況が増加。
    - AIやデジタル技術を活用する企業が市場で優位に立っている。
    - IT技術を取り入れられない企業は、競争力を失うリスクが高い。
    - 業界全体でのデジタル化推進が急務となっている。
  - アナログとデジタルの利便性比較 (01:03:02)**
    - アナログ手法が便利とされる場面もあるが、全体的には非効率。
    - デジタル化により、情報共有や業務処理が迅速化する。
    - アナログとデジタルの利便性を比較し、最適な手法を選択する必要がある。
    - デジタル化のメリットを業界全体で共有すること。

- |                         |   |   |
|-------------------------|---|---|
| AIとIT技術の導入促進 (01:03:39) | 〇 | AIやIT技術を活用することで、業務効率が大幅に向上。                                 |
|                         |   | 情報収集や分析が迅速化し、顧客対応の質が向上する。                                   |
|                         |   | IT技術を導入しない企業は、時代に取り残される可能性が高い。<br>業界全体でのIT活用の重要性を認識する必要がある。 |
| デジタル化のメリット (01:03:44)   | 〇 | デジタル化により、業務の効率化とコスト削減が実現。<br>顧客満足度の向上やトラブルの減少が期待される。        |
|                         |   | 情報の透明性が向上し、業界全体の信頼性が高まる。                                    |
|                         |   | デジタル化は、業界の未来を切り開く鍵となる。                                      |
| 業界全体への呼びかけ (01:03:52)   | 〇 | デジタル化を進めることで、業界全体の競争力を強化。<br>小規模な葬儀会社もIT技術を取り入れることで生き残りが可能。 |
|                         |   | 業界全体での協力が、変革を成功させるための鍵となる。                                  |
|                         |   | デジタル化の成功事例を共有し、導入を促進する。                                     |
| 今後の展望と課題 (01:04:00)     | 〇 | デジタル化の進展により、葬儀業界の未来が大きく変わる可能性。<br>変化に対応できる企業が市場での競争力を維持。    |
|                         |   | 業界全体での意識改革と教育が必要。   |
|                         |   | デジタル化を通じて、より良いサービス提供を目指すべき。                                 |
| 本日の内容の振り返り (01:04:14)   | 〇 | 葬儀業界の現状と課題、デジタル化の重要性について解説。                                 |
|                         |   | 調査結果や具体的な改善提案を共有。   |
|                         |   | IT技術の導入が業界の未来を切り開く鍵であることを強調。                                |

- 視聴者への感謝の言葉 (01:04:14) ⑦
- 今後も業界の発展に向けた情報提供を続けることを約束。
- 視聴者の成長と成功を願うメッセージで締めくくり。